

Z世代のみどり戦略勉強会の実践を生産者等とのマッチングでサポート

Z世代が食料システムの関係者と交流する勉強会を実施し、その後のイベントや学園祭での出展に際して、環境負荷低減や地産地消に配慮した取り組みとなるよう、生産者等とマッチング。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、地産地消、食育

○ きっかけ・背景、課題の把握

長崎女子短期大学及び活水女子大学から、それぞれ従来から取り組んでいるイベント等での食に関する出展に際し、みどり戦略の勉強会の成果となるよう、食材調達等について県拠点にサポートを求められた。

○ 取組の内容

長崎女子短期大学ではクッキーの米粉を、活水女子大学では学園祭でのランチ食材の調達について、県拠点がこれまでに様々な交流で把握した生産者、事業者、自治体等をマッチングした。

○ 効果・成果、今後の方向性

長崎女子短期大学では自然循環型農業を進める自治体と連携し、そこで作られた米粉のクッキーをオーガニックマルシェで販売した。

活水女子大学では長崎県の農産物等の地産地消はもとより、環境負荷低減の取り組みで生産された根菜類、しょうが、ソーセージ等を使用したランチを学園祭で提供した。

大学側は、従来の取組がみどり戦略に沿った深みのあるものになったことと生産者等との直接の結びつきができ、地域と連携した新たな取組を期待している。一方、生産者等は、教育機関に対する食材提供を通して生産現場の思いを伝えることができたことを非常に喜んでいた。

双方とも今後の継続を望んでいるためサポートしていきたい。

長崎女子短期大学



活水女子大学



勉強編



実践編

体制図

